

学校だより

# みどりの丘から

令和6年度 3月号



発 行 神奈川県立みどり支援学校

発 行 日 令和7年3月10日

住 所 横浜市緑区東本郷 5-18-1

電 話 045-471-7941

(Fax045-474-4707)

ホーメージ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/midori-sh/index.html>



今月は、校長、副校長、教頭、支援連携グループからの記事です。今年度最後の発行となります。1年間ありがとうございました。

校長より



1年は、本当に早いものです。小学部1年生と6年生が手をつないで、仲良く校内を散策する姿を見ると、子ども達の成長をしみじみと感じます。本校の校歌の1番は「みどりの『み』は、みんなの『み』、互いの心、輪につなぎ、手を取り合って、さあ行こう！」です。私は、子ども達が手話を交えて、元気に歌ってくれるこの歌詞が大好きです。

子ども達はこの1年で、「好きなこと」「できること」がずいぶんと増えました。友だちを意識したり、お互いを思いやったり、協力したりする場面も、たくさん見られるようになりました。自分の気持ちが上手く伝わらなくて悔しい思いをする時もあったけれど、思いを伝える方法を身につけたり、気持ちに折り合いをつけたりすることも学びました。

様々な思い出を胸に、たくましく成長した高等部3年生（本校27名、分教室15名）は、みどり支援学校を旅立つ時を迎えます。中学部3年生7名、小学部6年生13名は、新たな一歩をふみだします。子ども達のさらなる活躍を、とても楽しみにしています。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。今後も変わらぬご支援を、何卒よろしくお願ひいたします。

大磯 美保

1年の月日がたち、正門の横の桜がピンクに染まっていたのも、本当に先日のように感じています。

そのように四季が移ろう中、また、暖かい春がやってきます。

児童・生徒の皆さんには、進級や入学、そして卒業とそれぞれの一人ひとり違う新しいページを綴っていくことになります。

さて次はどんなページになるでしょうか。成長という本の1ページ、1ページにそれぞれの新しい言葉を紡いでいくのは、児童・生徒たち自身です。

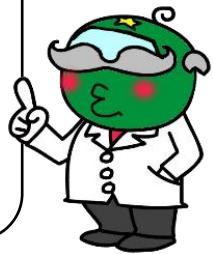
それらの言葉が、引き立つように、そして輝くように、大人は淡い絵の具で、新しいページに挿絵を描き応援しましょう。

時間は、戻せません。早送りすることもできません。そして、止まることもありません。新たなページを1枚ずつ、大切に、健やかに、綴っていきましょう。

さあ、春が来ます！

保護者の皆様や地域の皆様、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

副校長より



二見 浩明





この一年間、皆様のご協力と献身的なご支援により、充実した教育活動が行われました。本年度も終わりを迎えるにあたり、改めて感謝の気持ちを述べたいと思います。

さて、令和5年4月1日「みどり支援学校」へ校名が変更され2年が経ちました。地域をはじめ広く校名が浸透してきたように感じ嬉しく思っています。そして、今年度は学校教育目標「自立と社会参加に向け、自分らしく輝く子どもの育成」が変わりました。学校・保護者・地域が一体となって【健やかな心と体】【確かな学び】【豊かな人間性】を育んでいきたいと思います。また、今年のニューフェイス、スクールバス（オレンジバス）が運行をはじめ、12月には空調設備を完備した体育館がリニューアルし、新栄高校と分教室の合同防災訓練など新たな一步が着実に踏み出しています。

今後も様々な教育活動を進展しながら、子どもたちの実態や今の時代・社会に合った教育活動を展開していきたいと考えています。保護者の皆様をはじめ地域の皆さん、関係するすべての皆さんに感謝申し上げるとともに、今年度も残すところ2週間となりました。一年間を総括し新しい年度に向けた準備をするとともに一日一日を大切にしてきたいと思います。

堀野 史雄

教頭より



支援連携グループより

### きらきら☆わくわく スヌーズレン体験

今年度も、多目的室にて「きらきらるーむ」がオープンしました。

(有)コス・インターナショナルさんより、スヌーズレンの光るグッズや感覚グッズをお借りしました。子どもたちの興味関心探しに、癒しの場にと、小学部の子どもたちを中心に体験しました。



体験した子どもたちは、光を始めそれぞれのグッズの動きや音に興味を示し、自分から積極的に手を伸ばしていました。円柱形の水が入っている大き目のグッズは、下側から空気の泡がふくふくと断続的に湧きつづけ、さらに光でライトアップされているので、とても人気でした！

○スヌーズレンは外部からの刺激や感覚を受け取ることが難しい重度の知的障害者向けに作られ、

「光」「映像」「音」「温度」「触覚」「臭い・香り」「味」「揺れ」など様々な刺激の中から自分が好む感覚を受け取ることや、落ち着いた空間の中でリラックスをする目的があります。(ネットより転用)